

相 密 院

文官分限委員會官制ハ之ヲ廢止ス

昭和十五年七月二十五日御沙汰ニ依リ返上

覽 濟

文官任用令中改正ノ件

右謹テ上奏シ恭シク

聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ付セラレムコトヲ請フ

昭和十五年六月二十四日

内閣總理大臣米内光政印

二
▽

勅令第

號

文官任用令中左ノ通改正ス

第二條及第三條中「第五條第一項ヲ」第五

條ニ改ム

第三條ノ二 左ニ掲クル勅任文官ハ前

二條ノ資格ヲ有セサルモ各其ノ職務
ニ必要ナル學識技能及經驗ヲ有スル
者ヨリ高等試験委員ノ銓衡ヲ經テ之
ヲ任用スルコトヲ得

内閣印刷局長

企畫院次長

企畫院部長

内閣情報部長

興亞院總務長官

興亞院部長

興亞院連絡部長官

興亞院連絡部次長

外務省通商局長

内務省神社局長

海外駐劄財務官

大藏省爲替局長

國民貯蓄獎勵局次長

預金部資金局長

造幣局長

專賣局長官

專賣局部長

馬政局長官

貿易局長官

物價局長官

電氣廳長官

航空局長官

航空局部長
技術部長
タルモノ

中央航空研究所長

國際觀光局長

保險院長官

相
密
院

朝鮮總督府專賣局長

臺灣總督府專賣局長

樺太廳長官

南洋廳長官

第五條第一項第二號ヲ左ノ如ク改ム

二 削除

同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項ニ規定シタル各職ノ在職年數ハ

之ヲ通算ス

第五條ノ二 三年以上奏任文官タル技

術官其ノ他特別ノ學術技藝ヲ要スル
文官ノ職ニ在リタル者ハ前條ノ規定
ニ依ル資格ヲ有セサルモ高等試験委
員ノ銓衡ヲ經テ之ヲ當該學術技藝ニ
關スル事務ヲ掌ル奏任文官ニ任用ス

ルコトヲ得

第五條ノ三 三年以上奏任文官タル學
校長又ハ教官ノ職ニ在リタル者ハ第
五條ノ規定ニ依ル資格ヲ有セサルモ
高等試験委員ノ銓衡ヲ經テ之ヲ教育

學藝又ハ宗教ニ關スル事務ヲ掌ル奏
任文官ニ任用スルコトヲ得

第六條第七號ヲ左ノ如ク改ム

七 三年以上判任官待遇以上ノ待遇

官吏ノ職ニ在リタル者

八 四年以上雇員タリシ者

九 四年以上北海道府縣市町村又ハ

之ニ準スルモノノ有給吏員ノ職

ニ在リタル者

同條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ニ規定シタル各職ノ在職年數ハ
之ヲ通算ス但シ所要ノ在職年數ヲ異
ニスル各職ノ在職年數ヲ通算スル場
合ニ於テハ甲職ノ在職年數ノ其ノ職
ノ所要ノ在職年數ニ對スル比率ヲ乙職

ノ所要ノ在職年數ニ乘シテ得タル年數
ヲ甲職ノ在職年數トシテ之ヲ乙職ノ
在職年數ニ通算ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第

樞密院

五條第一項第二號ノ改正規定ハ昭和十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ第五條第二項ノ規定ニ依リ文部
部内ノ奏任文官タル資格ヲ有スル者ハ
仍從前ノ規定ニ依リ之ヲ任用スルコト

ヲ得

區
谷
院

相
密
院

昭和十五年七月二十五日御沙汰ニ依リ返上

覽
濟

奏任文官特別任用令改正ノ件

右謹テ上奏シ恭シク

聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ付セ

ラレムコトヲ請フ

昭和十五年六月二十四日

内閣總理大臣米内光政印

二
一